

来賓挨拶



「教員のための 金融教育セミナー」 を 開催

このコーナーでは、毎回、金融広報中央委員会の最新の取り組みや活動内容を紹介してまいります。今回は平成20年8月に開催した、「教員のための金融教育セミナー」の模様をご紹介します。



パネル・ディスカッション

学校における 金融教育の推進のために

子どもたちにお金との正しい関係を伝え、現実社会をよりよく生きる力を培うために、金融教育へのニーズが高まっています。金融広報中央委員会では、学校の先生方を対象とする金融教育セミナーを8月7日に東京で開催しました。当日は、全国から約160名の方が参加されました。

開会に当たり、小畑義治会長より、本日得られたヒントや実践報告事例を、学校での実際の指導の中で活用いただきたいとの開会挨拶がありました。

学習指導要領改訂と金融教育

来賓の文部科学省初等中等教育局・牛尾剛文視学官よりご挨拶をいただきました。ご挨拶では、学習指導要領改訂の基本的な考え方などに関する説明の後、小中学校の社会科等の学習指導要領で金融教育に関連して新たに盛り込まれたポイントについてお話しいただきました。

■パネル・ディスカッション

続いて、「金融教育のわかりやすい実践に向けて」をテーマにパネル・ディスカッションが行われました。パネリストは、国

立教育政策研究所の工藤文三初等中等教育研究部長、岐阜大学教育学部の大杉昭英教授、ファイナンシャル・プランナーで生活経済ジャーナリストのいちのせかつみ氏のお三方です(コーディネーターは恵谷英雄事務局長)。学校における金融教育の児童生徒に対する効果や、どのような教材を使って、どのように教えれば児童生徒にとって「わかりやすく」なるか、などのポイントを巡り活発な議論が交わされ、聴かれた先生方からも「今後の実践を考えるうえで大いに参考になった」などの感想が聞かれました。

■分科会

小・中・高等学校ごとに行われた午後の分科会では、金融教育の実践例(各分科会で2例ずつ)について、報告および関連するワークショップが行われました。

小学校分科会では、東村山市立野火止小学校・小関禮子校長より「移動教室でのおみやげ購入を通じた実践的な金融教育の展開」、阿南市立平島小学校・島村孝教諭より「起業教育から金銭の多面的価値を考える」『株式会社ナカちゃんプロジェクト』のCD販売を通して」についての報告がありました。子どものお金やものとの付き合い方について活発な意見交換がなされたほか、起業教育を実践する際の留意点について、講師より有益なアドバイスがありました。



小学校分科会



中学校分科会



高等学校分科会

した。

中学校分科会では、目黒区立目黒中央中学校・三枝利多教諭より「家計のシミュレーションと模擬商談〜身近な経済活動を疑似体験し、その意義を知る〜」、小松市立根上中学校・朝倉京子教諭より「賢い消費者になろう！ ロールプレイング〜いろいろな販売方法を知り、適切な選択・購入の態度を身につける〜」についての報告がありました。ワークショップでは、家計のシミュレーションゲームや訪問販売等に関するロールプレイを実際に行って、授業で実践する際の留意点等を検討しました。

高等学校分科会では、熊本県立玉名高校・山形隆教諭より「社会生活に関する法」についての報告、学校での出前授

業の経験も豊富ないちのせかつみ氏より「カネは天下の回りもの？ 人生楽ありゃ苦もあるさ！」と題するお話がありました。またワークショップでは、ネットオークション詐欺の対処法やインターネット上の金銭貸借の危険性等について話し合ったほか、先生方自身のマイホーム計画を含めた人生設計を考えました。

セミナーに参加された先生方からは、「児童生徒に分かりやすく伝えるためのヒントが得られた」、「意欲的な実践の報告を聞き、刺激になった」などの感想が寄せられました。

今回のセミナーを一つの契機として、学校における金融教育がさらに裾野を広げていくことを期待しております。